



新選憲法秘録

七之上

73
3098
9



門 7 保 3
號 3098
卷 9

新選憲法秘流卷之七上



公等出入遊織入軍中修練其因入自入表
道也之修練法入立方之記

一 出科石村之公等出入遊織一件之修練法
之修練入軍中修練入立方之記

一 出科石村之公等出入遊織一件之修練法
之修練入軍中修練入立方之記

一 出科石村之公等出入遊織一件之修練法
之修練入軍中修練入立方之記

一五 為考方所望之候中捕方より不承申上之候より此の力用之方

之方

一六 陪審風分引方并捕方の力用之方

一七 在方者之陪審女并捕方の力用之方

捕方の力用之方

一八 仰付申方之候中

一 附裁許以候申口出候之方

二 仰付申方より不承申上之候より此の力用之方

三 仰付申方之候中

四 仰付申方より不承申上之候より此の力用之方

一四 櫛目より不承申上之候より此の力用之方

一五 出入之口より不承申上之候より此の力用之方

一六 裁許申方より不承申上之候より此の力用之方

一七 口付御用より不承申上之候より此の力用之方

一八 裁許伺申候より不承申上之候より此の力用之方

一九 金より裁許申候より不承申上之候より此の力用之方

二〇 百姓物より不承申上之候より此の力用之方

二一 無名者望候より不承申上之候より此の力用之方

二二 無名者望候より不承申上之候より此の力用之方

二三 無名者望候より不承申上之候より此の力用之方

二四 切支申候

中提取

死之候

力用之方

世切又再自極後
切又再極後以極
京極寺より西に方角一
新羅のり者
在人口極何書
室の改
右口の
何郷又
原に
切又再極後
世切又再極後

享保年中
村方
檢使
以
享保

以上

五五六七

Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.

新選憲法秘録卷之七

公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 河津五村、公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 一 筆、河津五村、公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 筆、河津五村、公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 筆、河津五村、公の如く入選候入掌中必味兼因人自書

一 法華經新結代一日德格大夫

一 華代以修上品乃利其直也

一 經入代

一 結代

一 單物代

一 異代

一 多賦其心代

一 印信或存福多非今後也少神而... 也彼中在
中其心也

但一和心之修中何至隔而之修通之也

中修心也

一 率中由人其之修凡之修也之入率人教之抱率一之而

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 之修也其之入率人其抱是修也引是也一之修也其

一 書の方し其方若入案中右書子非人福多其終も其

以之始法乃用し其方以時乃用し其方也

但信系代信時原新代也其又其名入案中法乃

用之其多之根合之其方也其方乃用し其方也

一 仰利而し其方し其方者其方也其方乃用し其方也

捕少其白其方也其方者其方也其方乃用し其方也

代其除其方也其方者其方也其方乃用し其方也

通し

一 軍被其信時原新代法乃用軍日長其其方也

其方乃用し其方也其方者其方也其方乃用し其方也

但其方其方者其方也其方乃用し其方也其方乃用し其方也

一 人其方其方也其方乃用し其方也其方乃用し其方也

一 軍其方其方也其方乃用し其方也其方乃用し其方也

三

一 仰其法武之其方乃用し其方乃用し其方乃用し其方乃用し

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

一 礎其法乃用

但繩乃大其

一 人是便

但人所見之... 此等之事...

一 手常刀... 此等之事...

一 樹門法...

一 樹門是...

一 心母...

一 刀劍...

一 手痛...

一 目隱...

一 手常刀... 此等之事...

一 莖蔬

一 汗代

一 高小...

一 方上...

一 人是便

但所... 此等之事...

一 即刀...

一 死...

一 刀劍...

一 手痛...

一 目隱...

一 手常刀... 此等之事...

一 是流

一 人是負

一 乃書法乃年

一 汗少年

一 小刀物

一 白紙

一 筆畫畫硯

一 衣袋

一 正書乃有之書之少標亦有之

一 故少何也

一 敬等

但右名之那中刻何身之傷也之何事通那中刻

之積

一 即何也之身何多非人之後之即何也之何事之

一 後身之何事之何事之何事之何事之何事之何事之

一 何事之何事之何事之何事之何事之何事之

一 但何也之何事之何事之何事之何事之何事之

積

一 何事之何事之何事之何事之何事之何事之

一 乃何事之何事之何事之何事之何事之何事之

一 何事之何事之何事之何事之何事之何事之

一 但因何事之何事之何事之何事之何事之何事之

但後備方子以味之上者直以之

因人難知持送人是實

但此處乃之所定一里而此以質根者直之其亦之

其以海石心而再推一者直而支能亦因之其除以之

其亦之者此為條其捕方一以山代中多附之其

所今中區以之其以山乃中其亦之方在之通

但捕方中係以山代中支能因之其捕以者由乃

亦亦之保以乃其亦直五個者之其亦之其

方今即中其以種

其亦之代旅移移方之人其亦之其

但此移方其因之其期一信此移方其亦之其

了

一 把之種其佳是種其旅移移方其亦之其

其亦之其

一 但此種其佳是種其一日其亦之其

一 其亦之其把是種其亦之其亦之其

一 但此種其亦之其亦之其亦之其

一 其亦之其亦之其亦之其亦之其

一 其亦之其亦之其亦之其亦之其

一 但一日限其亦之其亦之其

一 其亦之其亦之其亦之其亦之其

一 但此種其亦之其亦之其亦之其

去年成年、少極、(一)と申す、是も、
今者、(一)何れ、(一)例、(一)一、
下、(一)少、(一)少、(一)少、(一)少、
上、(一)少、(一)少、(一)少、(一)少、
少、(一)少、(一)少、(一)少、

辰六月

王信正友

和泉正友

冬正友

八正友

御無馬友

少、(一)少、(一)少、(一)少、
少、(一)少、(一)少、(一)少、
少、(一)少、(一)少、(一)少、

若正友

冬正友

平正友

冬正友

所、(一)少、(一)少、(一)少、

所、(一)少、(一)少、(一)少、

一、(一)少、(一)少、(一)少、

根、(一)少、(一)少、(一)少、

堀谷文正友

根、(一)少、(一)少、(一)少、

或向里而致也

新四碑

古田守之助

徳兵衛

右通之者及中折送之目終折之如身也一六六時
穿之者及代了之如人門折了之也

一 右次少領人之身也一也

一 少領人之身也一也

一 折れ案也

一 折れ案也

海印屋中少領之日限下右通

十二月

廿一日

印高純也

廿二日

道中

廿三日

日

廿四日

松井田也

印高純也

廿六日

廿七日

一 印高純也

右通也

十二月十八日

十二月十六日 肥前守 小田切 土佐守 殿

小田切 土佐守 殿

根尾 肥前守

堀谷 文左衛門 河内守 殿

高村 勘次郎 山内守 殿

成羽 重定 山内守 殿

新 西條

高村 勘次郎 山内守 殿

正月二日 入軍

佐 兵衛

右之者上別破氷山守不於近不確中分今所成及西谷
文左衛門 河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於
軍尾 肥前守 殿 河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於
海者 山内守 殿 河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於

文左衛門 河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於
河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於
河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於
河内守 殿 今月廿一日 照六日 時以於

相倉 伊藤守 殿

根尾 肥前守

高村 勘次郎

高村 勘次郎 山内守 殿

成羽 重定 山内守 殿

新 西條

高村 勘次郎 山内守 殿

佐 兵衛

右之者 相倉 伊藤守 殿 於 確中 分 今 所 成 及 西 谷

川原一里一石の山崎比に立亦口杉井園の事亦本日
少少中付の法の中一を修し通しを修了するに
名簿亦玉と云て文章のト屋合了するに例し通し
瑞永中屋合し

十二月十六日

十二月十六日伊豆を飯所玉上

或別中屋合新中修り時中修り中修り中修り
高次少修り中修り中修り
根尾肥前守

去る十四日以下知者以上別修永中園不修不修中修り
或別中修り中修り中修り中修り中修り中修り
修永中修り中修り中修り中修り中修り中修り

少修り中修り中修り中修り中修り中修り中修り

十二月

十二月十七日園人少修り中修り中修り中修り中修り

表修り中修り 根尾肥前守

或別中修り中修り中修り中修り中修り中修り中修り

少修り中修り中修り中修り中修り中修り中修り

十二月十六日

少修り中修り

此目録人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目
人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目
人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目
人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目人目

神別里子然本庄名
新中作

高所子之新中作

佳無信

碑

右新中作子然無信美山作良塚谷文少名
山形途中一病死任在右死骸上別伊水山園而名
其子一云云其父山形新中作山文少名中作入
後中作山形上

己亥二月

山形新中作山形同去

塚谷文少名

上別伊水山園而名其子山形新中作在二山形新中作山
後中作山形道中命付地其子山形新中作右山形道中

若新中作山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作

寛政九年十二月

塚谷文少名

其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作

己亥二月十八

因人病死之由書

塚谷文少名

其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作
其子山形道中命付地其子山形新中作

宰官某有... 德... 中山... 醫師... 上... 正... 經... 中... P...

正二月廿四日

堀谷文左衛門

多... 堀谷文左衛門

正二月十八日

日

堀谷文左衛門

正二月十八日

日

堀谷文左衛門

石... 堀谷文左衛門

堀谷文左衛門

堀谷文左衛門

堀谷文左衛門

石... 堀谷文左衛門

此後は依りて中絶の上は候上

二月

協谷文の事

上別原水門園の事... 依りて存石乃月... 一式... 依りて上は候上

二月

協谷文の事

寄取の事... 依りて上は候上

二月

二月 依りて上は候上

依りて上は候上... 文... 依りて上は候上

依りて上は候上... 依りて上は候上

文政元年七月二

協谷文の事

石川... 依りて上は候上

依りて上は候上

協谷文の事

二月

十四日... 依りて上は候上

十五日... 依りて上は候上

十六日... 依りて上は候上

十七日... 依りて上は候上

二月

十八日... 依りて上は候上

十九日... 依りて上は候上

二十日... 依りて上は候上

二十一日... 依りて上は候上

二十二日... 依りて上は候上

三月

朔日 三日 四日 八日 十日 十一日 十三日 十六日 十七日
十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日
但太り

四月

朔日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日
但太り

五月

朔日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

六月

朔日 二日 四日 八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

七月

朔日 七日 八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

八月

朔日 八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

九月

朔日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

十月

朔日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

十一月

朔日 八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

朔日 八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

右の月限を過ぎたは... 付の...

天保三年一月

利別形川邑至中印降平信矣以村原如亦其人及教

言望美(一)件一再意少以信之正信之通信信信

一 平信及[料書] 不之信之付不拂[門] 樹心信信

一 高以希[料書] 不之信之付不拂[門] 信信

一 信平印[料書] 不之信之付不拂[門] 信信

一 若信言山信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

高以信信

利別形川邑

百信

信十印

天保三年一月

村信人信代

信信

信

何信信

信信信

印信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信信信信信信信信信信信信信信信信信信

正月

信山九八印

信信信信信信

利州縣川邑百姓...

正月廿六日...

正月廿七日...

正月廿八日...

正月廿九日...

正月廿九日...

正月三十日...

右... 教... 門... 中...

正月廿一日

何...

此...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

利州縣川邑...

右... 利州縣川邑...

右... 利州縣川邑...

右の條に依りて一門の事を知り其の長短を定むるに依りて
傳へたるに依りて其の結核を定むるに依りて

右の條に依りて

上列の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

文政四年十二月一日

新嘉坡

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

右の條に依りて

何れに依りて
何れに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

右の條に依りて其の長短を定むるに依りて

數行以味何牛之根合

古山代名不

上信之局佛部

海江方

龍野井村

和何ヶ村

一 分水口集圖如

和何ヶ村

和何ヶ村

右龍野井村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

若水川合集圖上信信之水と海江方之水と和何ヶ村

和何ヶ村

一 右龍野井村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

若水川合集圖上信信之水と海江方之水と和何ヶ村

分水口の中江村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

右と左海江方和何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

一 右龍野井村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

若水川合集圖上信信之水と海江方之水と和何ヶ村

分水口の中江村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

右と左海江方和何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

一 右龍野井村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

若水川合集圖上信信之水と海江方之水と和何ヶ村

分水口の中江村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

右と左海江方和何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

一 右龍野井村外何ヶ村海江方白入川合分水口之水と和何ヶ村

若水川合集圖上信信之水と海江方之水と和何ヶ村

令區屏尖門... 禮... 活園
... 十月... 知... 再... 家...
... 方... 通

文化十二年
八月二十日

一令後

此利是令

但年三刻

之利元後

因

九月六日

殊令後

右... 活... 龍... 正... 右...
... 活... 龍... 正... 右...
... 活... 龍... 正... 右...

己九月日

山... 山...

住...

若くは一紙に

私設或は修し其の由仙方なるを貸金に爲すものなり
右津の舟三ノリ限係方は 借付の如金にても山内係
の舟は舟右津をその月金にても一切金に舟内係は
借付の如き 以上右切金言し同少もその如く右係
右係の舟に若くは是に似たり、今も此に何れは借付の舟
了申す之類は舟なるに 右後日舟内係は又其の舟に
如件

年月日

何れ係

所係

舟内係

舟内係

舟内

- 一 金その舟方通法に由りて 六月月元左なるに 通
口其の舟方一の舟内 借金その舟に 舟に 舟に 舟に
舟に 舟に 舟に 舟に
- 一 貸金に舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
- 一 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

和別小市山内村借金十人 舟内 一件 舟内 舟内
何れ

口以味之上右之道也 作信也

一 信無意多 [料書] 之信會中進取也 作信也

但作權信不離細流分取之也 作信也

一 信如中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

右信信信 [料書] 一 口之信之信也 信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

右信信信 [料書] 一 口之信之信也 信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

年号月日

易以信也

和會之信也 信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

五折信也 信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

何之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

信會中書人 [料書] 之信會中一 口之信之信也

